

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）【保健学研究科心理支援科学専攻（修士課程）】

1. 教育課程の概要

心理支援科学専攻は、多職種・多領域にわたるチーム医療の中で活躍できる高度な専門知識及び技能を有した心理支援職の養成を目的とします。医学・保健医療を基盤としながら、臨床心理学を学問的中心として位置付け、エビデンスベースドプラクティスに基づく心理支援に必要とされる体系的な知識及び技能の修得を目標とした授業科目を編成しています。

2. 教育・学習方法

（１）心理支援科学に関する実証に基づく高い専門的知識及び技能とその活用に必要な実践力を修得します。

（２）地域社会における心理学的課題を発見し、地域連携のリーダーとして解決に向けた方法を計画し遂行する行動力、論理的思考力及び研究能力を修得します。

（３）専門職としての高い倫理観と責任感に基づく生涯学習への態度及び多職種連携に基づくチームアプローチに必要な協調性を修得します。

3. 学習成果の評価

学修成果を客観的かつ厳格に評価するため、各科目のシラバスにおいて授業内容の詳細と成績評価基準を明示します。科目担当教員は到達目標に対する状況が把握できる成績評価基準を策定し評価を行います。